

[HOME](#) > [生活・療養](#) > [家族のケア](#) > [きょうだいへのケア](#)

✿ きょうだいへのケア

更新・確認日：2014年04月22日 [[履歴](#)]

履歴

2014年04月22日 2013年7月発行の冊子とがん情報サービスの情報を再編集し、掲載しました。

[閉じる](#)

両親の関心が、1人の子どもに集中してしまうと、きょう代いは寂しい思いをします。

親に甘えられなかったり、何かあっても相談できなという場合があるかもしれません。また、病気の子もだけが大事にされているように感じてしまうこともあります。

しかしそれよりも、自分も家族の一員であるのに、何が起こったかはっきり理解できないまま、取り残されているという疎外感が、寂しさの原因になる場合もあります。

理解できる範囲で病気のことや今後の見通しについて、医療者や両親がしっかりきょう代いに説明をしておくことが大切です。病院によっては面会に年齢制限があるなど、入院中にきょう代いを会わせるのが難しい場合もありますが、できるようであれば会わせたり、電話で話をさせたりしましょう。

通学している場合はきょう代いの担任にも事情を伝えるなど、早めに対応して周りの人の協力を得てください。

[◀ 家族のケア へ戻る](#)

関連情報

[がん情報サービス](#) [生活・療養](#) [ganjoho.jp](#)

よりよい情報提供を行うために、アンケートへの協力をお願いいたします。

[📄 アンケートページへ](#)